



ふじやま公園の夏の七草！！変化朝顔はじめ花でいっぱい

～第3回ふじやま公園写真コンテスト開催！～

花のある公園を目指しているふじやま公園では夏を迎えるまでにウメやサクラ、ボタン、シャクナゲ…などの花がすでに終わりました。でもまだまだふじやま公園独自選定の「夏の七草」が控えています。



散策路を歩くだけでもアマチャ、ハコネウツギ、ホタルブクロ(写真下)…があり、ちょっと目立たないところにその恐ろし気な名前とはまったくそぐわない可憐な花の八重のドクダミ(写真上)、畑にはキュウリ、オクラ、ジャガイモ、大きな木ではカキ、ユズ…などが競って咲きます。

さらに、5年目を迎え年々思わぬ変化が面白くなっている江戸変化朝顔。花はもう少し先、夏真っ盛りですが今月中には浅い播き箱に種を播いて生育をスタート、何段階も植え替えを進めていって、ようやく展示できる変化朝顔になるのです。しかも播いた種が去年と同じ花を咲かせるとは限らないという気難しい花だけに変化しなくて普通の花になったりもするのですが、まったく予期しない変わった花が出てくる楽しみもあります。



そして、そんな花たちを主役にしたり、主屋や長屋門、里山…を独自に表現してもいい第3回「ふじやま公園写真コンテスト」を開催します。例年50点以上の応募がありますが、詳細は次号で発表します。ぜひ花いっぱいの今から傑作を撮りだめしておいてください。



ここでも何度かお知らせしたように、いまふじやま公園の里山の木々が大きく変貌している。もやしのようなものを剪定しているのだが、今年度はいよいよ富士塚周辺に手が届く。富士塚から富士山が見えるようにする5年計画がまさに佳境に入ってきたのだが、これは楽しみだ。主屋、工作棟の閉鎖は5月いっぱい延長されることになったが、里山は3密とは関係なくいつでも立ち入りOK。富士塚からの景色をお楽しみに。





祝い桶

昨年末に公田の旧家から古い民具・農具の寄贈の問い合わせがありました。早速納屋にお邪魔して、いくつかのものを戴きました。その中に 2 個の「祝い桶」として伝えられた大きな桶がありました。大きく立派なものなので展示場所に苦慮し、現在は主屋板の間の戸棚の上にポリ袋で覆って展示あります。

主な寸法は上端直径：51 cm、高さ：25 cm、深さ：18.5 cm、側板の厚さ：3 cm、であり、直径：54 cm 把手付きの厚さ 3cm の蓋があります。すし桶をかなり大きくした外観です。側板は桎目材が用いら



れ、漆塗りで太さの異なる 3 本の箍(タガ)が桶の下方を締め、桶全体を引立てています。ちなみに透水性の低い板目材は樽に用いられます。

用途は祝い事で餅を撒く時、餅を入れる容器であったとことです。かつては神社の祭礼時に餅を撒くことがあったとか、現在でも上棟式で餅を撒く習慣があります。寄贈された桶には相当の量の餅が入ったと思われ、その餅撒きは盛大であったと想像されます。

5 月末までは主屋が閉鎖されていますが、主屋に入れるようになりましたら、実物を見て往時を偲んで下さい。



今年も熊本城復元整備基金へ5万円を寄付しました

ふじやま公園では毎年、竹炭や梅干しの販売売り上げを各種団体に寄付してきましたが、今年は昨年に続いて熊本城復元整備基金に約 5 万 8 000 円を寄付しました。これは昨年より少なめですが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため花見会が中止となり、梅干しの売り上げがなかったためです。そのため梅干しは 7 月に行われる予定の「わんこそめん流し」で販売する予定です。熊本城再建に頑張っている熊本市からはいつでも熊本城を見学できる「熊本城主」証のカードが送られてきました。



ふじやま公園で活動してみませんか？

横浜市指定有形文化財に指定されている本郷ふじやま公園は、地域に根ざした文化体験の場として、現在 140 名ほどのボランティアが携わっています。公園には四季折々の花が咲き、地域のみなさんが集うさまざまな行事が行われています。落語や文楽、能舞・能管コンサートなどのイベントも開催しています。ふじやま公園を支えているのはボランティア会員の協力です。ボランティアは古民家歴史部会、里山部会、工作棟部会、農芸部会、クリーンアップ部会、広報部会などに分かれて、公園と市民をつなぎ、自然と古民家を守る活動を行っています。各部会とも一緒に活動する新たな仲間を募集しています。045-896-0590 へ電話してお問い合わせください。



ハコネウツギ (箱根空木)

日本原産のスイカズラ科の植物で、北海道から九州まで広く自生している。葉は、アジサイにそっくりで、5月から6月にかけて咲く花は、最初は白、その後ピンク、赤と鮮やかに色を変化させていく。そのためか、花言葉は「移り気」とされたとか。有名な唱歌「夏は来ぬ」の中で“卯の花のにおう垣根に……”と歌われている卯の花とは白い花を咲かせるウツギのことであるが、こちらはアジサイ科に属し、ハコネウツギとは別の植物。公園では、ケヤキ広場の脇に植えられている。



★ 今年度の年会費納入をお忘れなく…

すでに本郷ふじやま公園のボランティア会員になっておられて、今年も会員活動を続ける意思のある方はぜひ今年度分の会費(通信費)納入をお願いします。大半の方はお済のようですが、お忘れの方もいらっしゃるようなので、よろしく願いいたします。

『 いろいろ雑記 』 から (原文のまま)

富士塚は良いですね。
皆さんもだまされたと思って登って見たらどうですか。
約 10 分、50 m か 100 m 登山です。
下をながめる心がはれます。
(市内 50 代 一人で)



令和 2 年 6 月度 ボランティア活動予定

| 部会・事項 | 日 程 | 部会・事項 | 日 程 |
|------------|-----------------|-------------|----------------|
| 事務局会議 | 6 日(土) | 古民家歴史部会 部会 | 7 日(日) |
| 農芸部会 部会 | 15 日(月) | 古文書解読勉強会 | 14 日(日) |
| 作業 | 月曜日 木曜日 | 歴史探訪 | 3 日(水) |
| 里山部会 作業 | 6 日(土) 13 日(土) | クリーンアップ | 2 日(火) 16 日(火) |
| | 20 日(土) 28 日(日) | 広報部会 | |
| 工作棟部会 部会 | 24 日(水) | ふじやまだより編集会議 | 9 日(火) |
| 囲炉裏守 囲炉裏焚き | 当分の間 休みます | 印刷 | 14 日(日) |
| | | ホームページ制作打合せ | 28 日(日) |

公園ボランティア活動に関心のある方、公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

| 教室名 | 日 時 | 内 容 | 参加費 | 応募期限定員 |
|-----------------|---------------------------|--|--------|-----------------|
| 里山のそば打ち塾 | 7月18日(土) 10時～12時30分 | 手打ちそばの基本を学び 美味しいそばを打ち、自分 でうったそばを試食します (持ち帰りもあります) | 900円 | 6月30日(火) 10名 |
| フラワー アレンジメント | 7月30日(木) 13時30分～15時30分 | さわやかな夏の花 いまはやりの多肉植物 (フェイクフラワー)で | 2,300円 | 7月9日(木) 8名 |

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応の為、体験教室と下記の“お知らせ”の実施を中止することがあります。あらかじめご承知ください。

・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会 語るもよし、聞くもよし、むかし話を楽しみましょう

日 時：6月18日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろり端

定 員：15名 当日先着順 無料

★ ふじやま手打ちそばの会 そば打ち研究会のメンバーが腕によりをかけた手打ちそばをどうぞ

日 時：6月12日(金)、13日(土)及び14日(日) 11時～13時

数 量：各日共30食 当日先着順

料 金：400円

★ 6月からの行事予定 詳細は改めてお知らせします。

7月2日(木)～7日(火) 七夕飾り

7月25日(土) わんこそめん流し 例年七夕飾りの期間中でしたが変更します。

9月24日(木) 文楽(予定)

10月17日(土) にぎわい座出前寄席

10月24日(土) 能舞・能管コンサート

11月8日(日) ふじやま茶会2020

11月14日(土) 収穫祭

11月19日(木) 古文書講座

★ 歴史探訪 会員外で参加ご希望の方は前もって事務所へお電話ください。

第145回 6月3日(水) 港南台(野鳥の小径)散策コース <中止>

★ ふじやま公園来園者数 4月来園者数 2,956名 2年度累計 2,956名

・開館時間：9時～17時

・入館料：無料

・休館日：毎月第1水曜日です (6月3日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593